

共通科目名	臨床病態生理学		時間	30
学ぶべき事項	1.臨床解剖学			
	2.臨床生理学			
	3.臨床病理学			
	4.臨床病態生理学演習			
研修概要	臨床解剖学	臨床解剖学は、人体の正常な構造を明らかにする学問である。人体の正常な構造と機能の正確な理解によって、人体の異常な状態、病気の成り立ちを認識することができ、その診断や治療へとつながる。本講義では、全身の器官・臓器について個々の構造を学習し、なぜそのような構造をしているのかを、その器官・臓器の働きと関連づけて、人体を俯瞰して理解する。		
	臨床生理学	生理学は生体の機能とそのメカニズムを解明する学問である。臨床解剖学で人体の形態と構造を学んだ後の学習のステップとして、臨床生理学でその役割と機能を学ぶ。本講義では、人体の生理学的な機能異常に基づく代表的な疾患を理解し、エビデンスに基づいた最善のケアを提供できるよう、生理機能評価の方法と実際に学ぶ。		
	臨床病理学	臨床病理学は、疾病の原因、病変の発現機序、それらの因果関係及び相互関係を考察し、正しい疾病観と疾患の具体的概念を学習し、理論と同時に臨床医学への基礎作りも兼ねるものである。本講義では、各器官・臓器ごとの疾病の定義と特徴および顕微鏡所見、病因論などを学ぶ。		
到達目標	高度な看護実践に向けて、臨床病態（症状とメカニズム）について理解を深め、患者の身体を統合的に把握するための基礎知識を習得し、患者に対する援助方法や正常な機能へ戻すための方法について自ら考え、対策を立て、対処できる人材の育成を目標とする。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（27時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（2時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	試験（1時間）	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.臨床解剖学	神経系	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	1
	循環系	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	2
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	3
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	4
	自律神経・内分泌	泉野 清宏	社会医療法人 春回会井上病院 病院長	講義	5
	運動系	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	6
	消化系	宮澤 正樹	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 消化器内科	講義	7
	生殖（臨床生理学も含む）	村瀬 真理子	横浜市大附属市民総合医療センター生殖医療センター 担当部長	講義	8
	細胞・遺伝子	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	9
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	10
	免疫	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	11

2.臨床生理学	神経系	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	12
	循環系	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	14
	自律神経・内分泌（臨床病理学も含む）	泉野 清宏	社会医療法人 春回会井上病院 病院長	講義	15
	運動系	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	16
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	17
	皮膚・感覚器系（1）	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	18
	皮膚・感覚器系（2）	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	19
3.臨床病理学	神経系	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	20
	循環系	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	21
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	22
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	23
	消化系	宮森 弘年	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 顧問・科長	講義	24
	感染	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	25
	免疫	高橋 秀実	日本医科大学医学部 微生物学・免疫学教室 主任教授	講義	26
	がん	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	27
4.臨床病態生理学演習	エネルギー	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	演習	28
	炎症	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	演習	29
科目修了試験				試験	30

共通科目名	臨床推論	時間	45
学ぶべき事項	1.診療のプロセス		
	2.臨床推論（症候学を含む）の理論と演習		
	3.医療面接の理論と演習・実習		
	4.各種臨床検査の理論と演習		
	5.画像検査の理論と演習		
	6.臨床疫学の理論と演習		
研修概要	診療のプロセス	患者の症候からその病態を推理する診療のプロセスとして症候診断の基本的な考え方を学ぶ。	
	臨床推論（症候学を含む）の理論と演習	患者が訴える症候から疾患群を想起し、何が最も疑わしいかについて一定の様式で臨床推論を行うため、症候学は臨床診断を行う上で重要な概念である。疾病を病因や病態からとらえるのではなく、患者の示す様々な訴えや診察所見から疾病を定義・分類し、主要な症候から疾患の診断ができるように、知識を統合し得られる情報を用いて論理的に推論する能力を身につける。	
	医療面接の理論と演習・実習	医療は患者との間の良好な信頼関係の形成から始まるものであり、良好な人間関係の構築と病歴の聴取及び身体所見の適格な取得には、一定の水準に達した診察技量が必要である。信頼関係の形成の基礎となる医療面接についての知識およびコミュニケーション技法を身に付け実践する。	
	各種臨床検査の理論と演習	臨床検査の著しい進歩により病態・疾病を正確に診断することができるようになり、医療現場で臨床検査は大きな役割を担っている。日常頻繁に使用されている臨床検査項目について、検体採取から臨床的意義並びに検査値の基本的な考え方など、臨床検査を中心とする一連の診断プロセスと病態との関係を総合的に学習する。	
	画像検査の理論と演習	近年の画像検査の進歩は著しいものがあり、現在の医療では不可欠な検査となっている。各種画像検査の結果から総合的に診断が行われる現在の診断体系から考えると幅広い知識が要求される。X線写真、CT、MR、超音波断層、核医学検査等の各種検査の臨床的意義、使用する装置の特性、そして実際の検査方法から結果の判読・評価に至るまで、基礎的な知識から臨床の場に即した検査結果と病態との関連について体系的に学ぶ。	
臨床疫学の理論と演習	客観的な疫学的観察や統計学による治療結果の比較に根拠を求めながら、実地診療における臨床判断を、エビデンスに基づいて実施するために、臨床疫学の理論およびそれをコミュニケーションすることの重要性や手法論を学習する。		
到達目標	①主要な症候から疾患の診断ができるようになるために、知識を統合し、関連する病態生理を理解し、得られる情報を用いて論理的に推論する能力を身につける。		
	②診療プロセスのために有用な医療面接、各種臨床検査や画像検査などの検査所見から得られる情報を説明できる。		
	③各種臨床検査、画像検査を受ける対象者や家族に必要な支援ができる。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト		
	演習：ロールプレイによる演習の評価		
	実習：ロールプレイ・デブリーフィングによる実習の観察評価		
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義（35時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分	
	演習（8時間）	通番64,65,66：視聴時間（イントロ）5分＋ケーススタディ（症例提示2分＋個人ワーク8分＋グループワーク10分＋視聴時間（解説）5分）×2＋視聴時間（まとめ）5分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
		通番69,70：視聴時間（イントロ）10分＋ロールプレイ（準備5分＋ロールプレイ10分＋振り返り10分＋全体共有5分）＋グループ討論10分＋視聴時間（まとめ）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
		通番80,86,91：視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	実習（1時間）	演習に基づき、臨床現場でよく出会う患者像で指定研修機関がシナリオを考えてロールプレイ・デブリーフィングによる観察評価を行う	
試験（1時間）	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.診療のプロセス	症候診断の基本的な考え方	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	31
	医学的診断の方法	石松 伸一	聖路加国際病院 副院長/救急部部长	講義	32

2.臨床推論（症候学を含む）の理論と演習	症候論（1）頭痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	33
	症候論（2）めまい	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	34
	症候論（3）失神	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	35
	症候論（4）意識障害	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	36
	症候論（5）しびれ	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	37
	症候論（6）胸痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	38
	症候論（7）動悸	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	39
	症候論（8）呼吸困難	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	40
	症候論（9）腹痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	41
	症候論（10）嘔気	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	42
	症候論（11）腰背部痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	43
	症候論（12）関節痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	44
	症候論（13）風邪	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	45
	症候論（14）全身倦怠	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	46
	ケーススタディ（1）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	47
	ケーススタディ（2）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	48
	ケーススタディ（3）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	49
3.医療面接の理論と演習・実習	コミュニケーション技法（1）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	50
	コミュニケーション技法（2）	阪本 直人	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師	講義	51
	ロールプレイ（1）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	52
	ロールプレイ（2）	阪本 直人	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師	演習	53
	実習	指定研修機関		実習	54
4.各種臨床検査の理論と演習	心電図（1）	大島 一太	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 兼任講師	講義	55
	心電図（2）	大島 一太	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 兼任講師	講義	56
	血液検査	村上 純子	埼玉協同病院 臨床検査部長/教育研修センター長 臨床検査専門医	講義	57
	尿検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	58
	病理検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	59
	微生物学検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	60
	生理機能検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	61
	その他の検査	村上 純子	埼玉協同病院 臨床検査部長/教育研修センター長 臨床検査専門医	講義	62
	演習	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	演習	63

5.画像検査の理論と演習	放射線の影響（1）	大河内 和久	自治医科大学附属さいたま医療センター講師	講義	64
	放射線の影響（2）	大河内 和久	自治医科大学附属さいたま医療センター講師	講義	65
	単純エックス線検査／CT	大河内 和久	自治医科大学附属さいたま医療センター講師	講義	66
	超音波検査・MRI・核医学検査	大河内 和久	自治医科大学附属さいたま医療センター講師	講義	67
	CT／その他の画像検査	大河内 和久	自治医科大学附属さいたま医療センター講師	講義	68
	演習	大河内 和久	自治医科大学附属さいたま医療センター講師	演習	69
6.臨床疫学の理論と演習	診断、検査の基本	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	70
	研究デザイン	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	71
	診断のEBM	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	72
	診療ガイドラインの読み方・使い方	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	73
	演習	岡田 悠偉人	ハワイ大学がんセンター がん疫学部疫学者	演習	74
科目修了試験				試験	75

共通科目名	フィジカルアセスメント		時間	45
学ぶべき事項	1.身体診察基本手技の理論			
	2.部位別身体診察手技と所見の理論			
	3.身体診察の年齢による変化			
	4.状況に応じた身体診察			
	5.演習・実習			
研修概要	対象者の健康状態を包括的に判断するために必要なフィジカルアセスメントの知識と方法を学ぶ。高度な看護実践を行うために、必要な情報を収集する身体面の観察技術(面接、視診、触診、打診、聴診、測定)を習得し、経緯や自覚症状などと照らし合わせながら問診を行い、観察した結果から対象者の健康状態を評価するまでの過程を学習する。また、小児・高齢者など身体診察の年齢により変化をとまうフィジカルアセスメントの知識、救急及び在宅医療の状況に応じた身体診察技術を修得する。			
到達目標	①日常的にみられる病態を系統的に理解し、より高度な看護実践に向け、病態生理学的状態をエビデンスに基づき判断できる知識・技術を身につける。			
	②多様な臨床場面における重要な病態の変化や症状をいち早くアセスメントできる基本的な知識を身につける。			
	③フィジカルアセスメントを活用し、症例に関する適切な情報収集・分析ができる。			
	④病歴や身体所見などの情報を統合してアセスメントができ、今後必要となる処置や検査の予測ができる。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	実習：ロールプレイによる実習の観察評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義 (39時間)	視聴時間45分+講義確認テスト15分		
	演習 (3時間)	視聴時間(イントロ)10分+グループワーク30分+視聴時間(解説)20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	実習 (2時間)	実習は指定研修機関で行う。ロールプレイによる実習の観察評価を行う		
	試験 (1時間)	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.身体診察基本手技の理論	身体診察と問診	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	76
	身体診察と診断推論	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	77
	エビデンスに基づく身体診察	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	78
2.部位別身体診察手技と所見の理論	全身状態とバイタルサイン (1)	粟師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	79
	頭頸部	林田 祐彦 高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 眼科 社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	80
	胸部	粟師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	81
	四肢・脊柱	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	82
	泌尿・生殖器	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長 (診療部長兼務)	講義	83
	乳房・リンパ節	鎌田 徹	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 乳腺外科	講義	84
	神経系	四本 竜一	東邦大学医療センター大森病院脳神経外科・神経内科病棟 主任看護師	講義	85
	心血管 (胸部)	粟師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	86
	呼吸 (胸部)	有田 孝	小倉記念病院 集中ケア認定看護師	講義	87
	骨格筋 (四肢・脊柱)	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	88
	腹部	後藤 順一	河北総合病院 急性・重症患者看護専門看護師	講義	89

2.全身状態とバイタルサイン(2)(症状別)	摂食嚥下障害	戸原 玄	東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 准教授	講義	90
	悪心嘔吐	松田 昌悟	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 消化器内科医長	講義	91
	発熱	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	92
	呼吸障害(1)	戎 初代	東京ベイ・浦安市川医療センター 集中ケア認定看護師	講義	93
	呼吸障害(2)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	94
	ショック	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	95
	がん	久山 幸恵	静岡県立静岡がんセンター がん看護専門看護師	講義	96
	浮腫・脱水	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	97
	意識障害	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	98
	高次機能障害	川北 慎一郎	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーション科	講義	99
	運動障害	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院整形外科	講義	100
	痛みの診療	金出 政人	尚整会 菅整形外科病院 麻酔科・ペインクリニック	講義	101
	頭痛、癌性疼痛等	高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	102
3.身体診察の年齢による変化	小児(1)	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	103
	小児(2)	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	104
	小児(3)	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	105
	高齢者(1)	宮本 正治	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 内科	講義	106
	高齢者(2)	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	講義	107
	高齢者(3)	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	講義	108
4.状況に応じた身体診察	救急医療(1)	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	109
	救急医療(2)	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	110
	救急医療(3)	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	111
	在宅医療(1)	太田 秀樹	医療法人アスミス理事長/一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 事務局長	講義	112
	在宅医療(2)	鈴木 央	鈴木内科医院院長	講義	113
	在宅医療(3)	大澤 誠	医療法人あづま会 大井戸診療所理事長・院長	講義	114
5.身体診察基本手技の演習・実習/部位別身体診察手技と所見の演習・実習	全身状態・緊急度の評価	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	115
	問診	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	116
	フィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	117
	適切な問診、意識の評価	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	実習	118
	腹部、胸部のアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	実習	119
科目修了試験				試験	120

共通科目名	臨床薬理学	時間	45
学ぶべき事項	1.薬物動態の理論と演習 2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の相互作用の理論と演習 4.主要薬物の安全管理と処方論の理論と演習		
研修概要	薬理学・薬理学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性、高齢者等、年齢による特性・個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ。		
到達目標	①薬理学・薬理学の基礎知識を深め、薬物投与の基本概念を理解できる。 ②薬物の作用機序、生体内動態、及び薬理作用と副作用の関係を説明できる。 ③各種疾病の基本的な病態生理を考慮した上で、薬理学的根拠に基づいた適切な治療薬物の効果的な使用方法を検討できる。 ④主要薬物の安全管理と処方論の理論を理解できる。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価 試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義（35時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分	
	演習（9時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	試験（1時間）	科目修了試験60分	

	学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番
1.薬物動態の理論と演習	薬剤学の基礎知識（1）	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	講義	121
	薬剤学の基礎知識（2）	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	講義	122
	薬理学の基礎知識（1）	嶋田 修治	東京理科大学薬学部薬学科准教授	講義	123
	薬理学の基礎知識（2）	嶋田 修治	東京理科大学薬学部薬学科准教授	講義	124
	演習	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	演習	125
2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習／3.主要薬物の相互作用の理論と演習	精神神経系（1）統合失調症	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	126
	精神神経系（2）双極性障害	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	127
	精神神経系（3）認知症、パーキンソン病	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	128
	精神神経系（4）てんかん、睡眠障害	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	129
	精神神経系 演習	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	演習	130
	心・血管系（1）心不全	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	131
	心・血管系（2）不整脈	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	132
	心・血管系（3）冠動脈疾患	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剂部部长	講義	133
	心・血管系（4）高血圧	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	講義	134
	心・血管系 演習	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	演習	135
	呼吸器系（1）気管支喘息治療薬①	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剂部部长	講義	136
	呼吸器系（2）気管支喘息治療薬②	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剂部部长	講義	137
	呼吸器系（3）慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剂部部长	講義	138
	呼吸器系（4）咳嗽に使用される薬剂	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剂部部长	講義	139
	呼吸器系 演習	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剂部部长	演習	140
	消化器系（1）上部消化器疾患	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	講義	141
	消化器系（2）炎症性腸疾患	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	講義	142
	消化器系（3）ウイルス性肝炎	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	講義	143
	消化器系（4）膵炎	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	講義	144
	消化器系 演習	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剂部部长	演習	145

	内分泌・代謝系 (1) 経口薬療法	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	146
	内分泌・代謝系 (2) 注射薬療法	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	147
	内分泌・代謝系 (3) 脂質異常症の薬物療法	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	148
	内分泌・代謝系 演習	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	演習	149
	骨・関節系 (1) 関節リウマチ	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	150
	骨・関節系 (2) 骨粗鬆症	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	151
	腎・泌尿器系 (1) 排尿障害	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	152
	腎・泌尿器系 (2) 慢性腎不全	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	153
	骨・関節系/腎・泌尿器系 演習	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	演習	154
	抗がん薬 (1)	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	155
	抗がん薬 (2)	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	156
	抗菌薬 (1)	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	157
	抗菌薬 (2)	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	158
	抗がん薬/抗菌薬 演習	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	演習	159
4.主要薬物の安全管理と処方 の理論と演習	医療安全 (1) エラー事例から学ぶ	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	160
	医療安全 (2) エラー再発防止への取り組み	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	161
	高リスク患者 (1) 妊婦と授乳婦	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	162
	高リスク患者 (2) 小児と高齢患者、代謝・排泄臓器機能の障害患者	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	163
	演習	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	演習	164
科目修了試験				試験	165

共通科目名	疾病・臨床病態概論		時間	40
学ぶべき事項	主要疾患の臨床診断・治療を学ぶ	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論		
	状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ	1.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 2.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習		
研修概要	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患等、プライマリ・ケアの場において遭遇することの多い主要な疾患・症状に対する、病態生理、臨床像、治療について基本的知識を学ぶ。		
	救急医療の臨床診断・治療の特性と演習	救急患者への対応や重症化予防の重要性を理解し、臨床診断・治療の特性に応じた治療を実践できる能力を培う。また、在宅医療において主要な病状の病態生理に基づいて、基本的な診察面接・身体診察・救急蘇生（Basic Life Support）の実際を学ぶ。		
	在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習			
到達目標	①頻度の高い主要疾患の診断・治療を理解する。			
	②状況に応じた臨床診断・治療（救急医学、在宅医療等）を理解する。			
	③臨床診断プロセスに必要な思考過程を身につける。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（34時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（4時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	試験（2時間）	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	循環器系（1）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	166
	循環器系（2）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	167
	呼吸器系（1）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	168
	呼吸器系（2）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	169
	消化器系（1）	洲崎 宇一郎	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 副病院長	講義	170
	消化器系（2）	洲崎 宇一郎	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 副病院長	講義	171
	腎泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院副院長（診療部長兼務）	講義	172
	内分泌・代謝系	泉野 清宏	社会医療法人 春回会井上病院 病院長	講義	173
	免疫・膠原病系	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	174
	血液・リンパ系	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	175
	神経系	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	176
	小児科	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	177
	産婦人科	新井 隆成	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 産婦人科	講義	178
	精神系	佐野 信也	防衛医科大学校 医学教育部医学科教授	講義	179
	運動器系	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院整形外科	講義	180
	感覚器系（1）	高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	181
	感覚器系（2）	林田 祐彦	社会医療法人 春回会井上病院 眼科	講義	182
	感染症（1）	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	183
	感染症（2）	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	184

	その他：悪性腫瘍（1）	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	185
	その他：悪性腫瘍（2）	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	186
	その他：脳血管障害	川北 慎一郎	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーション科	講義	187
	その他：急性心筋梗塞	大島 一太	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 兼任講師	講義	188
	その他：糖尿病	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	189
	その他：敗血症	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	190
	その他：認知症	鷲見 幸彦	国立長寿医療研究センター副院長	講義	191
	その他：熱中症	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	192
	演習（1）	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	演習	193
	演習（2）	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	演習	194
科目修了試験				試験	195
学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習	特性（1）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	196
	特性（2）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	197
	特性（3）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	198
	演習	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	199
2.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習	特性（1）	片岡 侑史	ココロまち診療所院長	講義	200
	特性（2）	片岡 侑史	ココロまち診療所院長	講義	201
	特性（3）	片岡 侑史	ココロまち診療所院長	講義	202
	特性（4）	西山 雅則	織田病院副理事長	講義	203
	演習	西山 雅則	織田病院副理事長	演習	204
科目修了試験				試験	205

共通科目名	医療安全学/特定行為実践		時間	45
学ぶべき事項	1.特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ			
	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ			
	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ			
	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ			
	5.特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ			
研修概要	特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ	医療内容の複雑化、高度化、社会構造の変化、国際化などにより、医療現場ではさまざまなリスクが発生している。本講義では、特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全そしてケアの質保証の知識を理解し事例検討及びグループディスカッションを通して、医療安全の理解・実践に多面的にアプローチする。		
	特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ	チーム医療の理念と専門的サービスを提供する職種間の連携のあり方について学び、チーム医療の実際と今後チーム医療の中心としての特定行為研修を修了した看護師が担うべき役割について学習する。		
	特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	特定行為に係る看護師の研修制度創設の背景と経緯、制度の概要から、医師法、保健師助産師看護師法、特定行為に係る看護師の研修制度の関連法規等を学ぶ。また、特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論を学ぶ。		
	根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	医師、歯科医師が看護師に特定行為を行わせるための「患者の病状の範囲」「診療の補助の内容」の指示として作成する文書である手順書の位置づけを学び、手順書の作成演習、使用する手順書の妥当性の検討及び手順書の見直し等評価と改良の手法を学ぶ。		
	特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	上記内容を統合して学ぶ。		
到達目標	①特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ。特定行為を実践するための患者の安全・安心の保証や、多職種協働を推進するための課題と方策を理解する。 ②多職種協働実践（Inter Professional Work(IPW)）（他職種との事例検討等の演習を含む）の知識と実践能力を身につける。 ③特定行為関連法規について理解し応用できる。インフォームドコンセントの歴史について理解し、応用できる。 ④手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後手順を評価し見直すプロセスを習得する。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価 実習：ロールプレイによる実習の観察評価 試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（24時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（12時間）	通番220,229,233,241,242,244,245：視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 通番225,226,231,248,249：全日病S-QUEが提供するリフレクションシートを用いて指定研修機関で実習の振り返りを行う		
	演習（8時間）	通番223,224：全日病S-QUEが提供する多職種協働実践のテキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
		通番230：全日病S-QUEが提供するインフォームドコンセントのテキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
		通番235,236,237：全日病S-QUEが提供するテキストに基づいて手順書の作成、評価、改良を行う 通番246,247：全日病S-QUEが提供する特定行為実践のテキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
試験（1時間）	科目修了試験60分			

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ					
①医療倫理	(1) 医療倫理・生命倫理の原則	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	206
	(2) 特定行為と患者の権利・医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	207
	(3) 研究倫理と特定行為	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	208
②医療管理	(1) 特定行為における医療マネジメント	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	209
	(2) リスクマネジメントと法規制	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	210
	(3) 特定行為における診療報酬と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	211
③医療安全	(1) 特定行為における組織と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	212
	(2) 特定行為における個人と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	213
	(3) 特定行為における患者・家族と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	214

④ケアの質保証	(1) 特定行為におけるケアの質保証～医療安全との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	215
	(2) 特定行為におけるケアの質保証～医療訴訟との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	216
	(3) 特定行為におけるケアの質保証～ケアと医行為との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	217
2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（IPW）（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ					
①チーム医療の理論	チーム医療を実践するために知っておくべきこと	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	講義	218
②チーム医療の事例検討	チームとしての最大を発揮する	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	講義	219
	チームとしての最大を発揮する 演習	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	演習	220
③コンサルテーションの方法	どんな情報を伝え、何を求めるか	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	講義	221
④多職種協働の課題	多職種との円滑な協働のためのマネジメント	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	講義	222
⑤チーム医療の演習	実習（1）	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	223
	実習（2）	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	224
	演習（実習の振り返り）（1）	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	225
	演習（実習の振り返り）（2）	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	226
3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ					
①特定行為関連法規	看護師特定行為研修の実際・モデルチェンジ	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	講義	227
②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習	理論	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	228
	演習	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	演習	229
	実習	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	230
	演習（実習の振り返り）	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	231
4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ					
①手順書の位置づけ		江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	232
②手順書の作成演習		江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	演習	233
③手順書の評価と改良		江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	234
④手順書の作成・評価・改良	実習（1）作成	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	235
	実習（2）評価	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	236
	実習（3）改良	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	237
5.特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ					
①特定行為実践に必要な知識・技能・態度		木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	講義	238
②特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ	特定行為実践課程の構造（1）	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	講義	239
	特定行為実践課程の構造（2）	加瀬 昌子	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 特定看護師	講義	240
	演習（1）	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	演習	241
	演習（2）	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	演習	242

③特定行為実践のアウトカム	特定行為研修修了後の実践成果の検討	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	講義	243
	演習 (1)	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	演習	244
	演習 (2)	木澤 晃代	日本大学病院 看護部長	演習	245
④特定行為の実践	実習 (1)	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	246
	実習 (2)	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	247
	演習 (実習の振り返り) (1)	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	248
	演習 (実習の振り返り) (2)	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	249
科目修了試験				試験	250